

2025 年度第 11 回価格審査会の開催について

2025 年度 11 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2026 年 2 月 13 日(金) 10:00~12:00
場 所	本部 6 F 大会議室
委 員	松田 寛志 日本工営株式会社 日本地域統括（兼）東京支店長 石井 修一 東日本建設業保証株式会社 経営企画部 副部長 遠藤 和重 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンス・テクリスセンター長 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 星野 正 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)
当 会	共通資材調査部 部長：小林 法雅、次長：南 昌宏 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：岩井 卓矢 監査審査室 室長：黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長：大澤 勝、課長：本間 哲

2025 年度第 10 回価格審査会議事録(案) 確認

2025 年度第 11 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」3月号、「Web 建設物価」3月号の価格調査の入稿状況</p> <ul style="list-style-type: none">・価格が上伸した資材（工事費） <p>【Web 建設物価】</p> <p>異形棒鋼（青森市ほか21都市）、H形鋼（青森市ほか17都市）、セメント（バラ）（奈良市ほか1都市）、レディーミクストコンクリート（普通セメント使用）（稚内市ほか7都市）、再生砕石類（八戸市ほか6都市）、コンクリート型枠用合板（全国）、アスファルト混合物（水戸市ほか46都市）、600Vビニル絶縁電線（IV）（全国）、芝（大阪市ほか6都市）、構造用合板—JAS品—（東京都23区ほか4都市）ほか。</p> <ul style="list-style-type: none">・価格が下落した資材（工事費） <p>【Web 建設物価】</p> <p>ストレートアスファルト（札幌市ほか56都市）、改質アスファルト（北海道地区ほか8都市）、鉄スクラップ（札幌市ほか26都市）ほか。</p> <p>2. 比較資料</p> <ul style="list-style-type: none">・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	レディーミクストコンクリートについて、来年度以降の値上げ動向を教えてください。	大阪地区では 2026 年 4 月から m3 当たり 8,500 円の値上げを打ち出している。また、東京 17 区では 2027 年 4 月から m3 当たり最低 3,000 円の値上げを打ち出している。同時期にセメントの値上げも予定されているが、その具体額が未定であるため、レディーミクストコンクリートの最終的な値上げ額は現時点で確定していない。セメントの値上げは全国的な動きであり、骨材価格の上昇や、人件費、輸送コストの増加も背景にあることから、今後も全国的に上昇基調が続く見通しである。
質問 2	アスファルト混合物の値上げが関東エリアに集中している理由は何か。	違法な白ナンバー車への規制強化が主な要因である。規制の強化により緑ナンバー車の運賃が上昇し、輸送コストが増加した。白ナンバー車は関東地区で多く利用されていたことから、同地区で影響が顕著に表れた。製造コストや人件費の上昇は全国共通の要因であり、他地区でも順次、値上げが浸透していくものとみられる。
質問 3	銅の価格が上昇を続けているが、今後の見通しはどうか。	銅の建値は今年に入ってから 200 万円台の高値水準が続いている。需要が大きく増える状況にはないが、この建値水準を考えると急激な値下がりには起こりにくいとみている。引き続き銅相場を注視していく。
質問 4	海外で銅鉱山の操業停止があると聞くが、日本の電線市場への影響はあるか。	鉱山トラブルによる供給不安は出ているが、日本への銅供給が途絶する状況にはない。銅鉱石は南米やオーストラリア他から輸入しており調達先が分散している。事故の影響は限定的と確認している。データセンター需要等が急伸すれば変わり得るが、現時点で国内の需給バランスは崩れていない。
質問 5	大阪万博跡地や梅田北側の大型開発が進む中、大阪の大型物件が他の地域の建設資材に影響を与えることはないのか。	過去に万博や半導体工場建設が各地で集中した際は労務面で逼迫が生じた時期があった。しかし現在は再開発の中止・中断が見られ、資材価格への直接的な影響は確認されていない。今後、複数の大型プロジェクトが同時に動き出した場合には、労務逼迫等の影響が出る可能性がある。

質問 6	平鋼・角鋼が新潟市のみで値上がりしている理由は何か。	平鋼・角鋼は、地域ごとの需給や販売店の販売姿勢により状況が異なる。全国的にメーカー値上げを受けて上昇傾向にあるなか、今月は新潟地区で値上げの浸透が確認されたため、同地区のみの値上がりとなった。
質問 7	鋼材全般で値上がり傾向との説明コメントがあったが、建築構造用角型鋼管は値下がりしている。その理由は何か。	鋼材全般では値上がり傾向にあるが、建築構造用角型鋼管は需要の弱さから販売店間の受注競争が激化しており、先月に続き今月も価格が下落している。
質問 8	肥料の値下がりに対して「需給緩和」が理由との補足コメントがあるが、どのような状況か。	価格が下落した肥料は油粕である。国産菜種油の生産拡大に伴い、副産物である油粕の供給量が増加し、需要に対して供給が上回る状態となった。このため「需給緩和」という表現を用いている。
質問 9	土壌改良材・ブランド品の変動幅が575.7%と大きい理由は何か。	荷姿が袋からバラ売りに変更されたことによるものである。同一資材として同じ枠内で扱っているため大幅な変動幅の表記となっているが、実質的な値上げではなく、荷姿変更に伴う単価の変動である。
質問 10	H形鋼に下げ止まりの印象があるが、中国製輸入材の影響はどうか。	鋼材は全般的に下げ止まりつつあるが、需要が弱く力強い上昇には至っていない。中国製輸入材は増加しているものの、現時点ではシェアは小さく、主に土木分野の一部で使用されている。安価なため価格上昇の抑制要因となっており、今後さらに輸入量が増えれば国内価格が抑えられる可能性がある。
質問 11	道路用砕石類について、大阪地区や神戸地区が値上がりしている背景はなにか。	大阪地区や神戸地区では、骨材メーカーで構成される協同組合による共同販売事業を背景に、骨材メーカーが強気の姿勢で交渉を展開した結果、値上げが浸透した。
質問 12	再生アスファルト混合物の東京14区地区の値上がり理由に白ナンバー車利用に係る荷主等への規制強化による影響とのコメントがあったが、他地区において今後、同規制強化の影響はあるのか。	同規制強化の影響は、近畿圏や東海圏など主に大都市周辺を中心に生じる可能性があると考えられ、今後も継続して注視する必要がある。

質問 13	白ナンバー車利用に係る荷主等への規制強化への対応策はあるのか。	白ナンバー業者による営業許可取得の動きが一部で見られる。また、製品メーカーにおいては、白ナンバー車の運転手を直接雇用して自社輸送体制へ切り替える動きや、取引形態を現場渡しから工場渡しへ変更する動きが広がる可能性がある。
質問 14	関西地区は、他地区と比較して価格改定の動きが早いと聞いているが、今回の割栗石の関西地区における値上がりは、他地区へ影響を及ぼすのか。	今月号では、兵庫県全域および大阪西部で割栗石の価格が上伸した。背景には、生産メーカーの減少があり、神戸地区では現在1社体制となっている。割栗石は生産メーカーが限定されることから、今回の値上がりは価格改定の指標となり、他地区へ波及する可能性もある。
質問 15	風力発電事業の採算悪化に伴う運用停止は、建設業界に影響を及ぼすのか。	現時点では、風力発電の運用停止が建設業界全体に及ぼす影響は限定的とみられる。個別事業者や地域雇用への影響は考えられるが、長期化すれば、撤去・解体工事需要が生じる可能性もある。
審議結果	「建設物価」3月号、「Web 建設物価」3月号の価格動向に問題はなかった。	

以上